

「阪神地域ビジョン2050」フォローアップ指標 概要版(令和7年度調査分)【阪神南】

◇目的 ・ビジョンの描く将来像にどの程度近づいたのか、達成状況を測る「ものさし」
 ・地域の良さ(強み)・課題(弱み)や、地域住民の意識とその変化を把握する資料

◇指標の設定方法
 総括項目及びビジョン実現に向けた4つの方向性に分けて描いた18のシナリオごとに、84の指標を設定
 (1) 主観指標 (52項目)
 ・「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査のうち、ビジョンの将来への取組に関係するもの
 ・「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査のうち、阪神南県民センターの独自調査項目
 (2) 客観指標 (32項目)

阪神南地域は、「住んでいる地域に愛着や誇りを感じる」「住んでいる地域にこれからも住み続けたい」の項目で全県1位を維持しており、「全体として今の生活に満足している」についても、前年に比べ4ポイント増、全県順位も8位から4位に上昇しています。また、「地域の企業に活気がある」でも全県1位の数値となっています。
 一方で、「若者が希望を持てる社会」(11.3% 全県4位)や「孤立しがちな人を生まないように気をつけよう社会」(11.4% 全県3位)、といった項目では全県順位は低くはないものの数値が低く、「多様な立場の人がつながり対話しながら新しい価値を共に創ること(コ・クリエーション)」により「阪神地域ビジョン2050」で描いた姿を実現するため、誰もが自分に合った“つながり”に参加できる社会、若者が希望を持てる社会を実現するための取組を今後も続けていくことが求められます。

◆主な指標の動向

	指標	阪神南			前回調査との比較	全県値		全県順位		昨年順位との比較	
		R5	R6	R7		R7	との比較	R6	R7		
総括	住んでいる地域に愛着や誇りを感じる	71.9%	71.5%	70.2%	▼	64.7%	△	1位	1位	—	
	全体として、今の生活に満足している	58.1%	55.2%	58.8%	△	58.4%	—	8位	4位	△	
	住んでいる地域にこれからも住み続けたい	87.6%	84.2%	82.0%	▼	77.4%	△	1位	1位	—	
(参考)											
方向性	将来への取組	指標(代表的なもの)			前回調査との比較	全県値R7	全県値との比較	全県順位R6	全県順位R7	昨年順位との比較	
I 自分らしいスタイルが実現できるまち	1 地域と趣味としごとが重なる暮らし	しごとと自分の生活の両立ができている	53.1%	51.9%	48.9%	▼	56.5%	▼	10位	10位	—
	2 いつからでも誰でもスタートアップ	新たな知識や技能を身につけたり、専門性をみがぐために、だれもが学びたいときに学び直すことのできる社会になっていると思う	14.1%	13.5%	19.0%	△	18.9%	—	7位	2位	△
	3 多様な人々が住みやすいまち	住んでいる地域には、年齢、性別、障害の有無、国籍などに関わりなく、暮らしやすい環境が整っていると思う	38.3%	42.1%	42.9%	—	37.1%	△	1位	2位	▼
	4 多文化共生で人々がいきいきと暮らせるまち	住んでいる地域は、外国人にも暮らしやすい環境が整っていると思う	33.0%	32.9%	32.8%	—	24.0%	△	1位	2位	▼
II 自然、歴史、文化が息づくまち、人を育てるまち	5 未来まで続く花と緑と里山	川や海、山林などの自然環境を守るための取組に参加している、またはしたい【阪神南県民センター調べ】	32.5%	27.6%	28.9%	△					
	6 みんなが憩う阪神なぎさ回廊	尼崎・西宮・芦屋の臨海地域の海辺の公園や遊歩道、観光スポットを訪れたことがある(尼崎スポーツの森、尼崎城、芦屋公園、潮芦屋ビーチ、武庫川河川敷、夙川公園、西宮市大谷記念美術館等、沿岸部の親水空間を「阪神なぎさ回廊」として周遊コースを設定)【阪神南県民センター調べ】	52.3%	52.2%	44.1%	▼					
	7 再発見で魅了する「阪神間モダニズム」	建築や文学、芸術作品などに代表される阪神地域特有の文化である「阪神間モダニズム」を知っている(作品例:ヨドコウ迎賓館、甲子園会館、武庫大橋、谷崎潤一郎「細雪」等)【阪神南県民センター調べ】	39.2%	38.8%	37.5%	▼					
	8 生涯の学びと次世代につなぐ阪神文化	住んでいる地域では、子どもの自ら学び考える力を伸ばす教育が行われていると思う	25.7%	29.9%	22.4%	▼					
III みんながつながるやさしいまち	9 世代を超えてつながるまち	住んでいる地域で、異なる世代の人とつきあいがある	43.5%	43.0%	37.6%	▼	42.6%	▼	7位	10位	▼
	10 自分にあった“つながり”に参加できるまち	ボランティアなどで社会のために活動している、またはしてみたい	35.0%	34.8%	32.0%	▼	32.1%	—	1位	5位	▼
	11 地域で循環するエネルギー	日頃から節電・省エネに取り組んでいる	68.8%	63.8%	66.9%	△	65.6%	△	8位	4位	△
	12 みんなで進める防災・減災	家庭で災害に対する自主的な備えをしている	46.2%	37.8%	42.7%	△	42.7%	—	3位	3位	—
	13 いきいき健康100年人生	住んでいる地域は、高齢になっても安心して暮らし続けられる地域だと思う	49.2%	56.1%	52.8%	▼	43.6%	△	1位	1位	—
IV にぎわいのあるまち	14 アートによるクリエイティブな環境づくり	暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っている	37.8%	38.7%	40.1%	△	38.3%	△	4位	2位	△
	15 訪れたい訪れやすい阪神地域ツーリズム	観光客入込数(千人)	13,291(千人)	14,251(千人)	14,538(千人)	△	125,291(千人)	△	3位	3位	—
	16 美味しい「食」と多彩な「農」	地元や県内でとれた野菜、果物、魚介類、肉などの食材を買っている	53.8%	55.5%	45.2%	▼	62.2%	▼	10位	10位	—
	17 まちなかのにぎわいを創出する	住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している、または参加したいと思う	37.0%	31.5%	31.1%	—	31.6%	—	8位	7位	△
	18 みんなで楽しむスポーツ	暮らしの中でスポーツをしたリスポーツ観戦を楽しんだりしている	43.5%	43.6%	43.8%	—	44.8%	▼	8位	5位	△

【表の見方】 ※1 前回調査及び全県値との比較は、前回値又は全県値より大きいものは「△」、小さいものは「▼」、差異が1ポイント未満のもの(主観指標)は「-」で表示。
 ※2 昨年順位との比較は、昨年度より上位の場合は「△」、下位の場合は「▼」、同位の場合は「-」で表示。
 ※3 斜線部分は当該年度の数値が存在しない、又は比較ができないものを表示。